

平成27年度 東蒲原郡阿賀町図工部 活動報告

部長 高橋 直子

1 研究主題 自分のおもいをいきいきと表現する子どもの育成

2 研究の概要

第1回・・・活動計画立案

第2回・・・芸術鑑賞会 新津美術館「山本二三展」

第3回・・・実技研修会「Kクレイ粘土」を使ったランプシェードの作成
講師：クラフテリオ 森 春菜 様

第4回・・・指導案検討会と複式図工の年間計画自校化に向けた情報交換会

第5回・・・授業研究（1・2学年複式学級）

2学年「つないでどんどん」1学年「おおきなかみでわっくわく」

授業者 佐藤 望 教諭（鹿瀬小）

指導者 本間 信昭 様（ふるさと学習館）

*巡回絵画展は、6月から11月の間、各校を巡回。

3 研究の実際

（1）実技研修より

粘土の特徴を生かして、ランプシェードを制作した。粘土に絵の具を混ぜる時の留意点や制作における支援のポイント、乾燥を防ぐための留意点などを詳しく教えていただいた。



（2）授業研究より

① 本時のねらい

- ・新聞紙を切って、思いのままにつないで表現することを楽しむ。
- ・新聞紙をつないで、面白い形を考えたり思いついたりできる。
- ・表現したものの面白さに気付くことができる。

② 授業の概要

- ・新聞紙を使って、1年生は変身グッズを作り、2年生はオープンスペースの装飾を行った。のりやセロテープを使わず、ねじったり折ったりして長くつなげたり、重ねて合体するなどの技を活用し、ダイナミックに活動していた。



4 成果と課題

「山本二三展」鑑賞会は、今後の児童への絵画指導及び自身の背景画に対する捉え方に影響を与えた。描きたい気持ちと描きたい題材のイメージを大切にしながら作品を制作していくことの大切さを学ぶことができた。

授業研究では、複式学級での学習を公開してもらった。指導者は、題材となった新聞紙の特性を生かした働きかけ・支援を細やかに行っていた。児童は、友達と一緒に活動する中で、新しい発想につなげていく姿が見られた。図工の授業でも「ふりかえり」の時間を設定しているかが話題になった。今後は「ふりかえり」についても課題意識をもって研究していきたい。